

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	
課題名	若年成人の B 型肝炎細胞癌の実態調査
研究期間	西暦 2015 年 12 月 24 日 ～ 2017 年 7 月 31 日
研究の対象	(1) 2011 年から 2014 年に受診された B 型肝炎の人のうち最初に受診された時の年齢が 40 歳未満の方 (2) 2005 年から 2014 年に肝細胞がんと診断された人で (1) 肝細胞がんの原因が B 型肝炎と考えられた人、(2) 肝細胞がんと診断された時の年齢が 40 歳未満、の 2 つの条件を満たす方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 (詳細: 病歴、治療歴、検査結果など) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名:) <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他 ()
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内 (提供先: 東京大学感染症内科) (提供方法: パスワードのかかった電子的配信) <input type="checkbox"/> その他 (提供先:) (提供方法:) なお対応表は、当科の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	本研究は東京大学 (感染症内科・消化器内科) を主研究施設とする多施設共同研である。全国 70 箇所の肝疾患診療拠点病院、日本肝臓学会評議員の在職施設のうち肝疾患診療拠点病院でない 60 施設の計 130 施設のうち研究参加への同意の得られた施設
研究の意義、目的	<p>東京大学医学部附属病院感染症内科・消化器内科では、肝臓病の診療にあたっている全国の施設との共同で標題の臨床研究を実施しており、旭川医科大学 消化器・血液腫瘍制御内科も研究協力をしております</p> <p>小児期、ことに 1 歳までに B 型肝炎に感染した場合、高率に慢性化します。慢性化した場合最終的にはその 2-5%の方が肝細胞がんに進展します。その多くは 50 歳以降に発生しますが、中には 30 歳台までに発見される場合もあります。こうした若年発症の肝細胞がんの実態は明らかになっていません。どのような方が若年で発症する方かも解明されていません。</p> <p>平成 26 年 9 月より、小児期の B 型肝炎・C 型肝炎の病態を明らかにすることを目的とする厚生労働省の研究班 (小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的</p>

	<p>根拠等の集積等に関する研究)が、発足しました。この研究班で上述した小児期のB型肝炎細胞がんの実態を調査することになりました。</p>
研究の方法	<p>この研究は皆様方のカルテから生まれた年月(日は使いません)、性別、家族歴、肝機能、ウイルスマーカー、肝炎に対する治療内容、肝細胞がん診断時の年齢、その時の検査成績などを抜き出し、まとめることにより行います。従ってこの研究のために皆様をお願いすることは何もありません。</p>
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお連絡期限は平成29年6月30日までと致します。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者 〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1 旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科 助教 澤田康司 (連絡先：0166-68-2462 内線2462)</p> <p>研究代表者： 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学感染症内科 准教授 四柳 宏 TEL：03-5800-8801 FAX：03-5800-8804</p>